

現道の状況

渋滞の解消とともに、信頼性の高い道路ネットワークを形成します。

● 国道153号の現状

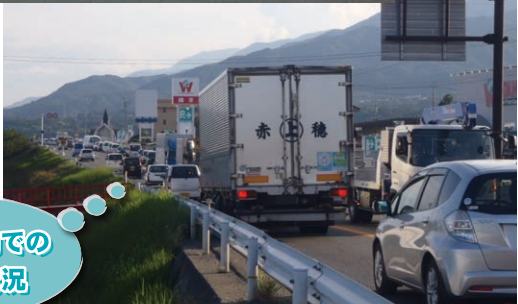
● 中央自動車道の通行止め



現道を通学路として
利用する学生



事故による
通行止め



伊那市内での
渋滞状況



迂回により
混雑する国道153号

周辺の観光地

南北アクセスを強化し、地域の観光を支援します。

● 伊那市



高遠城址公園

約1500本の固有種タカトコヒガンザクラが咲き誇り「天下第一の桜」と称されます。

● 駒ヶ根市



千畳敷カール

四季折々の魅力あふれる水河地形で、伊那谷はカールを人里から見る事ができる日本唯一の盆地です。

● 宮田村



宮田高原

標高1,650メートル、360°見渡す限り的大自然、展望台からの眺望、中央アルプス、南アルプス、伊那谷の絶景、満天の星空が魅力のキャンプ場です。



南アルプス林道バス

長谷戸台口～仙丈ヶ岳・東駒ヶ岳の登山口北沢峠を結びます。途中の停留所「歌宿」からの鋸岳の眺めは圧巻です。



光前寺

光前寺境内は樹齢数百年の杉の巨木に囲まれ、もみじが約60本、本堂へ向かう参道や三重塔周辺は、木漏れ日でキラキラ光る紅葉が見事です。



総合公園 ふれあい広場

全長70mのロングジャンボすべり台、小平奈緒さんも練習したローラースケート場、くつろぎの芝生など、水と緑にあふれたゆとりある公園です。



中央アルプス



国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所

〒395-0024 長野県飯田市東栄町3350

TEL (0265)53-7200(代表)

<https://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/>



南アルプス

2025年3月版

国道153号 伊駒アルプスロード

より快適により便利に



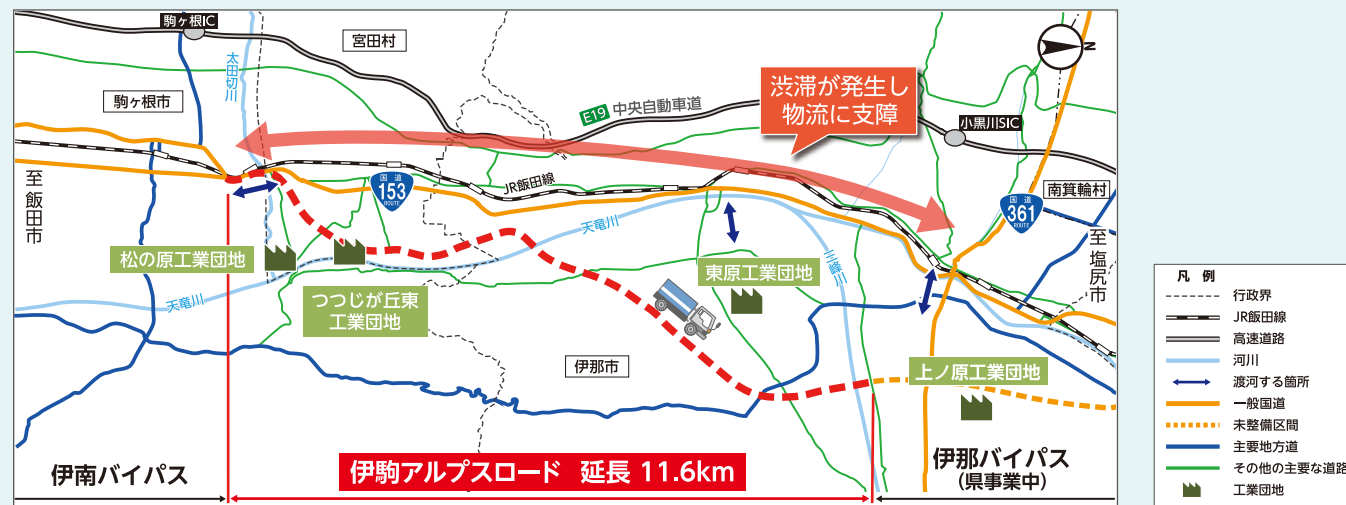
国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所

現道の課題

課題01

渋滞により円滑な交通に支障

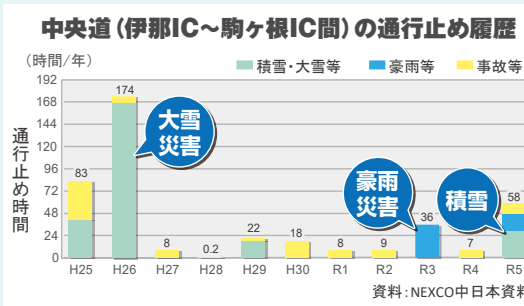
- 国道153号の駒ヶ根市～伊那市の区間では朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生しています。
- この渋滞により、沿線企業への物資の運搬や救急活動に支障をきたしています。



課題02

中央自動車道の代替ネットワークの確保

- 国道153号に並行する中央自動車道では、土砂災害や積雪、事故等による通行止めが毎年発生しています。
- 中央自動車道からの迂回車両が国道153号に流入することにより、渋滞が引き起こされています。



課題03

リニア中央新幹線による観光活性化効果の波及

- リニア長野県駅の開業に伴い、更なる観光客増加が期待され、リニア効果を広域に波及するため南北方向の交通アクセス強化が課題となっています。

伊駒アルプスロードの効果

効果01

渋滞緩和による企業の生産性向上

国道153号の生活交通と通過交通を分離するとともに、バイパスにより天竜川を渡河することで、国道153号の渋滞緩和及び沿線企業の生産性向上を図ります。

効果02

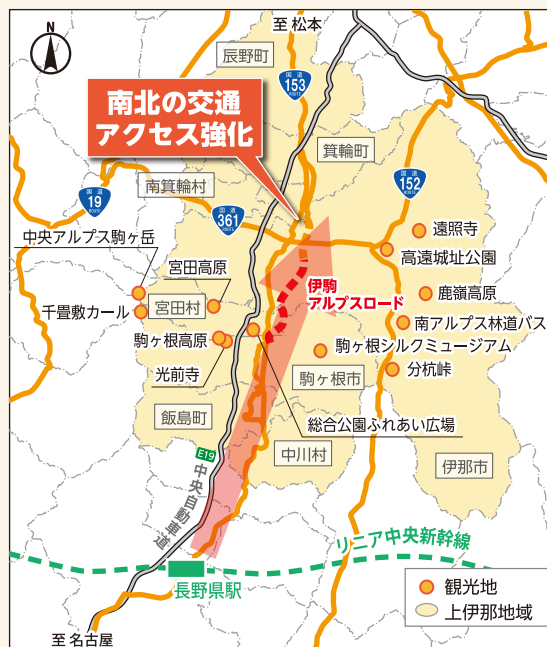
中央自動車道の代替路の確保

中央自動車道の災害・事故等に伴う通行止めに対し、並行する国道153号を強化し、信頼性の高い道路ネットワークを形成します。

効果03

南北軸の強化による観光支援

リニア中央新幹線長野県駅の開業を見据え、南北アクセスを強化することで、地域観光を支援します。



Route 153

より快適に、より便利に。伊駒アルプスロード

事業概要

国道153号伊駒アルプスロードは、長野県駒ヶ根市赤穂を起点とし、伊那市美篤を終点とする約11.6kmのバイパスです。本路線は、伊南バイパスと伊那バイパスを結び、一般国道153号の混雑解消、円滑で安全な交通の確保等を目的に計画されています。

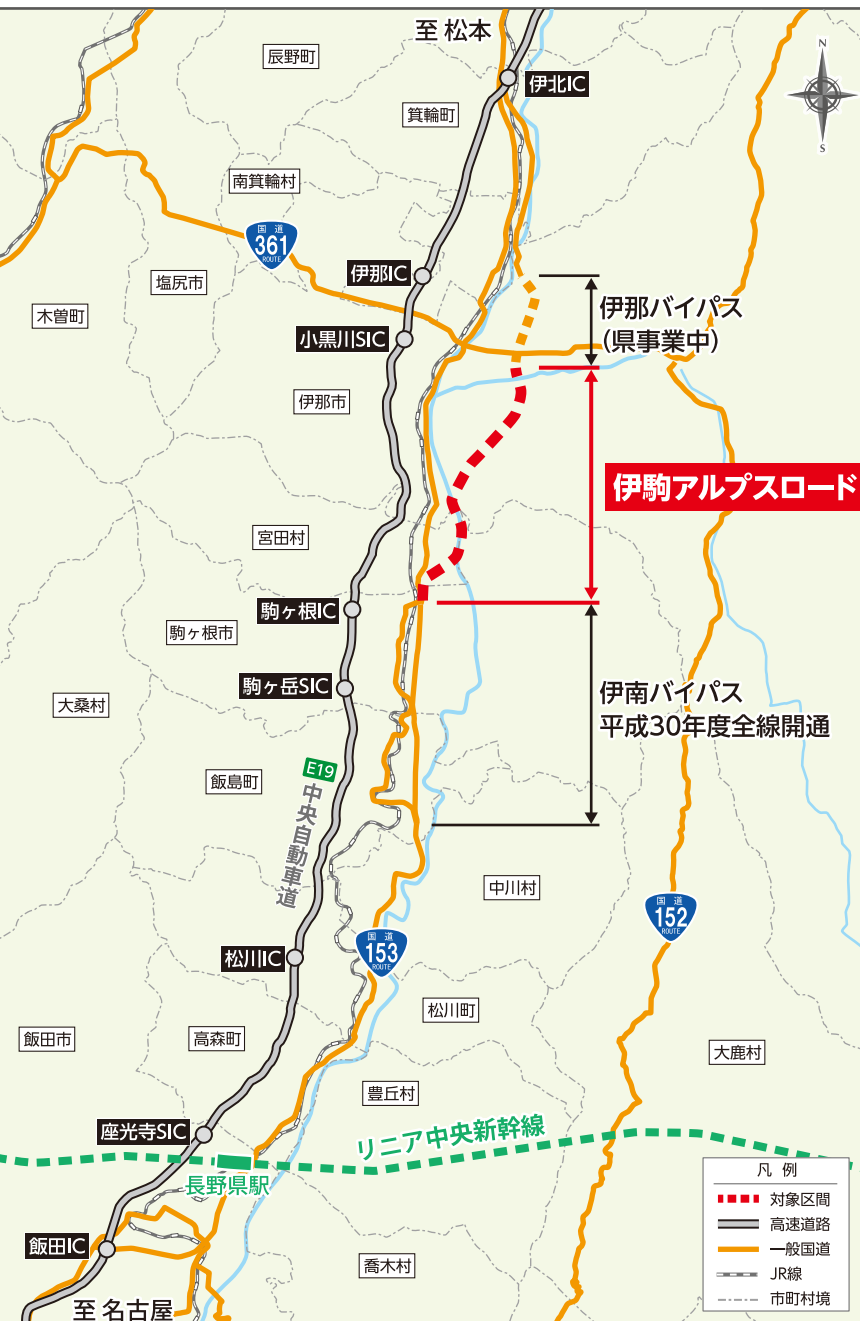
計画概要

起 点 長野県駒ヶ根市赤穂
終 点 長野県伊那市美篤
延 長 11.6km
道路規格 第3種第2級
車 線 数 4車線
設計速度 60km/h

事業経緯

平成23年度 長野県において、概略ルート検討に着手
平成23年11月 公募により区間名称を「伊駒アルプスロード」に決定
平成31年2月 都市計画決定
令和2年度 直轄権限代行により新規事業化
令和5年度 伊那市内において用地買収に着手

広域図



拡大図



① 駒ヶ根市側から望む伊駒アルプスロード



② 伊那市側から望む伊駒アルプスロード